

第 11 分科会

学外の実践活動を生かした大学教育

分科会概要：

急速な社会環境の変化とともに、さまざまな規模の社会課題が生まれている。大学教育においても学内だけの活動では難しい局面に立たされており、学外との接続を有効に活用した教育実践が急務になっている。従来からの「文系」「理系」「芸術系」という枠を超えた新しい発想が求められる今、暮らしやすい社会を生み出すための教育実践例を紹介する。具体的には、京都精華大学メディア表現学部で実践している全員必修の 2 年次の学外実習（インターンシップ）の実態について報告する。本学部は、2050 年の未来から今を見つめる「活動」を重視した教学指針のもと、プロジェクト遂行に必須の技術・表現・コミュニケーションを複合的に学ぶことを目的としている。こうした教育ミッションを軸にしながら、大学と連携企業の関わり方と学生の実践状況を紹介します。学外を意識した大学の実践教育のあり方についての議論を深める場にしたい。

<プログラム>

9：30 趣旨説明

京都精華大学 メディア表現学部 教授 小松 正史 氏

9：35 講演 1. 「大学で社会実践することの意義と可能性について」

京都精華大学 メディア表現学部 教授 吉川 昌孝 氏

10：00 講演 2. 「京都精華大学メディア表現学部における学外実習の実態」

京都精華大学 メディア表現学部 教授 大下 大介 氏

(聞き手：小松 正史 氏)

10：25 講演 3. 「社会実践する大学生を企業で受け入れる試み」

北近畿鉄道ビジネス株式会社 代表取締役 福原 習作 氏

10：50 休憩

11：00 ディスカッション